

Title	Gallia52号 あとがき・奥付
Author(s)	
Citation	Gallia. 52 P.132-P.132
Issue Date	2013-03-02
Text Version	publisher
URL	<a href="http://hdl.handle.net/11094/26952">http://hdl.handle.net/11094/26952</a>
DOI	
rights	
Note	

*Osaka University Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

## あ と が き

原亨吉先生のご高名は、私が大学院生のころからよく見聞きしていました。とりわけ、メナール版パスカル全集のなかで、原先生の論文が何度も言及され、ときに最大限の賛辞とともに詳しく紹介されているのを目にして（とくに第4巻『デトンヴィルの手紙』解説にて）、強い畏敬の念を抱いたものでした。ご訾咳に接する機会を逸したことを、大変残念に思います。パスカル研究のみならず、西洋近世の数学史研究全体における原先生の多大なご貢献にあらためて敬意を表するとともに、謹んで哀悼の意を表します。

巻頭で和田章男教授も書かれているように、一月のある日、私たちは原先生のご自宅を訪ねました。奥様が二時間ほどにもわたって、貴重な思い出話を披露してくださいました。われわれ二人は、その間ほとんど口をはさむこともなく、原先生の超人ぶりを示す、ときにほほえましいようなエピソードの数々に聴き入ったものでした。若いときからずっと変わらず「来る日も来る日も朝から晩まで勉強ばかりしている」先生と、そのお姿を少しあきれたご様子で、しかし無上の敬愛をこめて見つめておられる奥様やご家族の、温かい生活が偲ばれました。奥様が、何かにとりつかれたように学問に打ち込む先生を、金の輪（正しくは緊箍児（きんこじ）というそうです）によって頭を締めつけられる孫悟空に喩えられていたことが、とりわけ心に残りました。「いつもその輪を外してあげたいと思っていた」とのことです。先生の墓碑銘の一字に「宙」を選ばれた奥様の願い通りに、今はのびのびと天を駆けておられるでしょうか。

論文、エッセーの執筆者各位、原先生の略歴や研究業績表の作成にご協力くださったみなさま、そして、本会編集委員諸兄ならびに本誌編集に携わってくれた学生諸君に感謝申し上げます。末筆ながら、本会会員のみなさまのさらなるご健勝をお祈りいたします。

(山上 浩嗣)

## GALLIA LII

2013年2月25日印刷・3月2日発行

編集発行者 大阪大学フランス語フランス文学会

代表者 和田章男

〒560-8532 豊中市待兼山町1番5号

大阪大学文学研究科・文学部フランス文学研究室内

tel. & fax : 06-6850-5117

e-mail : contact@gallia.jp

URL : <http://www.gallia.jp/>